

12/30
五旗

年越し支援

2020年12月29日(火) 10時~17時
2021年1月2日(土) 10時~17時

生活困窮者を救済し、暮らしを助け、年越しを支援する。コロナ被害相談村「池田」東京都新宿区



コロナ解雇 仕事ない ネットカフェ暮らし

東京・新宿 悲痛な声

「年越し支援・コロナ被害相談村」が29日、東京都新宿区立久保公園で開かれ、コロナ禍で住まいを失った人の相談や、都が用意した緊急一時宿泊場所の利用支援などを行いました。
日本労働弁護団など有志が実行委員会をつくり、全労連、連合、全労協の人がボランティアに参加。午後5時までに50人が相談に訪れました。
6月にコロナによる業績悪化を理由に解雇された男性(38)は「ハローワークは求職者が多く仕事が見つからない。個人事業主の道を

模索して借金が増えたと言います。家の冷暖房が壊れて住めなくなり、緊急宿泊につながりました。「相談しても門前払いかと憤慨していたが、手厚く対応してもらったと喜びました。建設会社で職機を動かしてネットカフェに宿泊していた男性(42)は、労働塞りしています。「週3日程準監督署に相談し会社に休業、日雇いで職機を動かしたい」と語り、同じネット

カフェに寝泊まりしていた女性2人にも相談村を紹介していました。
相談村は30日、1月2日も午前10時~午後5時まで行われます。

年越し相談村



年越し支援・コロナ被害相談村で相談を受ける(左から)小池、谷川の両氏=29日、東京都新宿区

相談村・都の宿泊事業激励

小池・山添・谷川氏ら

日本共産党の小池晃書記局長、山添拓参院議員、谷川知行衆院東京ブロック比例候補、大山とも子団長ら東京都議団は29日、コロナで困っている人に一時的な宿泊場所を提供している。小池氏は「政府や厚労省の事業「TOYOCHA」や「ネット」窓口を訪問し、激励しました。窓口に付け替えた後、都が

小池氏は、新宿区立久保公園の「年越し支援・コロナ被害相談村」を激励し、相談活動にも参加。日本労働弁護団の東一郎副団長から状況を聞き取り、山添氏は「生活と仕事を安定させるのが大要です。これから、もっといい状況が予想されます。今後とも協力していただきたい」と要請し、小池氏は協力を約束しました。